2010年2月4日【木】 友引 （1）
スポーツニッポン新聞社
東京本社 〒135-8517 東京都江東区越中島2の1の30
©スポーツニッポン新聞2010（日刊）
昭和25年8月28日 第3種郵便物認可 ☎03（3820）0700
Sponichi Annex http://www.sponichi.co.jp/

「暴行騒動」衝撃の結末

スポニチ 60th ANNIVERSARY 号外

電撃表明 朝青龍引退

日本相撲協会の理事会に召喚された朝青龍。右は高砂親方＝4日午後1時12分、両国国技館

朝青龍電撃引退の真相はあすのスポニチで

大相撲初場所中に知人男性に暴行したとされる横綱朝青龍（29）＝本名ドルゴルスレン・ダグワドルジ、モンゴル出身、高砂部屋＝が4日、現役引退を表明した。師匠の高砂親方（元大関朝潮）とともに日本相撲協会の理事会に召喚され、自ら引退を申し入れた。朝青龍は1月16日未明、泥酔して知人の男性に暴力をふるったとされ、事情聴取のため理事会に呼び出されていた。歴代3位の通算25回の優勝を誇る異能横綱が、自らまいたトラブルの責任を取る形で電撃的に土俵を去ることになった。

問題横綱が

数々のトラブルを起こしてきた問題横綱が自ら引退を口にした。午後3時4分、理事会が行われていた会議室から出てきた朝青龍は「引退します。いろいろお世話になり、世間をお騒がせしました」と話した。車に乗り込む前には「今は晴れたような気持ちです」と言葉を絞り出した。

日本相撲協会は4日、東京・両国国技館で定例の理事会を開催。会議終了後に朝青龍を召喚した。朝青龍は午後1時10分に国技館に到着。師匠の高砂親方（元大関・朝潮）とともに会議室に入った。同1時35分に理事会は中断。一度退席した朝青龍は無表情で控室に戻り、再開を待った。午後2時30分に理事会は再開したが、朝青龍は冒頭だけ出席して控室で待機。そして同55分、九重親方（元横綱・千代の富士）二所ノ関親方（元関脇・金剛）が再び横綱を呼び、朝青龍はその場で引退の意を伝えたもようだ。

朝青龍は初場所中の1月16日未明、東京都内で泥酔して知人を暴行、パトカー2台が出動する騒ぎを起こしたと写真週刊誌に報じられた。当初は個人マネジャーが「私が被害者」として名乗り出て、25日に武蔵川理事長（元横綱・三重ノ海）に厳重注意を受けた。しかし、28日には「週刊新潮」の報道で個人マネジャーではなく別の一般男性であることが発覚。相撲協会は調査委員会を発足させるなど真相究明に乗り出していた。

「いろいろお世話になりました」

朝青龍は97年に来日し、高知・明徳義塾に相撲留学。高砂部屋に入門。99年初場所で初土俵を踏んだ。03年初場所で2度目の優勝を飾り、場所後に横綱に昇進。05年には年間最多勝記録更新と全6場所制覇など数々の偉業を達成し、最強横綱の異名を欲しいままにした。しかし、07年初場所後に週刊現代が「朝青龍に絡む八百長記事」を告発。さらに同年名古屋場所後には夏巡業を休んでモンゴルでサッカーに興じたことが発覚。2場所の謹慎処分を受けていた。

「世界一の負けず嫌い」とも言える激しい気性が小柄な体を支えていたが、その半面トラブルもつきものだった。自らが招いた引退といえ、その引き際はあまりにも衝撃的かつ、寂しいものになってしまった。

△朝青龍明徳（あさしょうりゅう・あきのり＝本名ドルゴルスレン・ダグワドルジ）1980年9月27日、モンゴル・ウランバートル生まれの29歳。高砂部屋。高知・明徳義塾高へ相撲留学し、99年初場所初土俵。03年初場所後に横綱昇進。幕内優勝25回は大鵬、千代の富士に次ぐ歴代単独3位。殊勲賞3回、敢闘賞3回。1メートル84、154キロ。

スポニチ 宅配版もどうぞ
申し込みはフリーダイヤル
0120・4・6 親む 12 人に 10 一礼
または最寄りの毎日新聞販売店へ
24時間OK